ＣＴＣ教育サービス　News&Topics　　2011年11月号

発行元：ＣＴＣ教育サービス

目次

新コース

◆◇　VMware社認定　VCP5対応日本語テキストコース予約受付開始！　◇◆

VMware社認定コースである、VMware vSphere: Install, Configure, Manage[V5]
をリリースいたしました。
VCP5資格にも対応する、今もっともお勧めのコースです。
試験受験用のバウチャーチケットがセットになったお得なコースもございます。
是非ご検討ください。

VM09V：VMware vSphere: Install, Configure, Manage [V5](バウチャー付)
VM09：VMware vSphere: Install, Configure, Manage [V5](バウチャーなし)
期間：4日間
価格(VM09V)：¥294,000（税込）
　　(VM09)　：¥273,000（税込）
詳細：http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/index.html#top_vm

※ＣＴＣ教育ならではの特典！※
・１人１Podの演習環境をご提供
・ＣＴＣオリジナル演習資料をご用意
・試験受験支援「スキルチェックシステム」の無料利用
などなど

期間限定キャンペーン

CCNPコース受講で、もれなく1コースが無料受講！！

ＣＴＣ主催の下記コースをお申込の方にもれなく
1コースが無料受講できる、お得なキャンペーン
実施中！　この機会に是非ご受講下さい!

N525 ROUTE	¥244,650
N525V ROUTE(試験バウチャー付)	¥262,500
N526 SWITCH	¥244,650
N526V SWITCH(試験バウチャー付)	¥262,500
N527 Tshoot	¥244,650

N527V Tshoot(試験バウチャー付)¥262,500

詳しくはこちら
http://www.school.ctc-g.co.jp/campaign/cnnp_c.html

Ruby資格対策コース　「再受験無料キャンペーン」

RubySilver、RubyGoldの受験をお考えの方に朗報！
下記試験対策コースをお申込の方に、もれなく
再受験無料バウチャーチケットをプレゼント！

R020V：『Ruby 技術者認定試験 Silver (RYO-100) 対策
リテイク対象試験バウチャー付』
R021V：『Ruby 技術者認定試験 Gold (RYO-200) 対策
リテイク対象試験バウチャー付』

詳しくはこちらよりコース詳細「備考」へ
http://www.school.ctc-g.co.jp/news/20111025.html

トピック

◆◇　『 仮想化技術お勧めコース　実践Hyper-V 』　◇◆

ＣＴＣ教育サービスでは、多くの仮想化技術のトレーニングを取揃えております。
今回は、Microsoft Hyper-Vの実践スキルを短期間で習得可能なMicrosoft関連
コース『 実践 Hyper-V 』 コースをご紹介させて頂きます。

本コースでは、Microsoft Hyper-V環境の構成、管理スキルを習得します。
想定するMicrosoft Hyper-V環境は、System Center 製品を併用する中・大規模
のものとなります。
また、ユーザーに影響なく仮想マシンを移行する「Live Migration」の構成や
状況に応じた仮想マシンのバックアップ、Power ShellによるHyper-V環境の運用
管理などに関してハンズオンの実機演習を行いながら学習して頂きます。

最終日には、模擬要件からの設計を含む総合演習を行います。
詳細手順等が無い状況で、操作・設定をご自身で考えて頂くことにより
学習した内容を、より実践的な能力として身につけて頂くことが可能です。

コース詳細、および開催スケジュール等は、弊社Webサイトをご参照いただき、
ご参加ください。

P712 ： 『実践 Hyper-V　～模擬設計、構築からHyper-Vの実践力を習得～』
(http://www.school.ctc-g.co.jp/microsoft/P712.html)

コラム

◆◇『スーパーエンジニアの独り言　第5回“Apache HadoopとBig Data”』◇◆

今回の話題は「Doug Cutting氏の来日講演」の続編です。

Doug Cutting 氏は ″Apache Hadoop″ の創造主です。彼の基調講演を拝聴した（2011年9月1日）その様子をお届けします。講演当日の会場では所狭しとパイプ椅子が敷き詰められ聴講者がひしめき合う満員御礼で、熱気立ち上がる中、プロジェクターとDoug　Cutting氏の勇姿を拝見しつつ、彼が発した言葉を一言も漏らさぬ覚悟でミミズが這うような字で手帳にひたすらメモを走り書きした次第です。このメモを元に講演顛末の後半を書き起こします。

″Apache Hadoop: A New Paradigm for Data Processing″
 Doug Cutting, Architect, Cloudera, Inc.
（講演されたスライドタイトル一覧は前々回のメルマガをご参照ください。）

Facebook、Twitter、Amazon、eBayといった錚々たるサービス企業でHadoopが採用され、企業向けとしても適用が進んでいる実績がありますが、Hadoopを『新しい基盤』と位置付けているポイントとして挙げたのは以下になります。

◇ 「コモディティ化されたハードウェア」
◆ 「シーケンシャルファイルアクセス」
◇ 「シャーディング」
◆ 「オープンソースである」

まず「コモディティ化」は、計算資源が劇的にコストダウンし、性能も大幅にアップしている現象であり、これを活用するためには何千ものコンピュータにスケール可能な（拡張性が柔軟である）仕組みが有効であるという事。

次に「シーケンシャルファイルアクセス」についてです。
その対極であるランダムアクセスはハードドライブのシークを発生することになりますが、ハード的にシークの時間は短縮しておらず「シークタイム＝無駄な時間」となります。
シーケンシャルなアクセスとすることで無駄を省き実際の操作に集中させる事ができるというのです。　一例は、パッチシステムにすることです。

「シャーディング」というのは、データベースを分割することです。
データベースを分割することで拡張性が生み出されます。
ここで重要なことが、信頼性を保証しながら（マニュアルではなく）自動化を推奨していくことにあります。つまり、分割した上でのフォールトトレラント環境が必要であり、不意のハードウェア故障にも対応できるようになります。

「オープンソースである」ことについての利点は理解されつつあるでしょう。
オープンコミュニティで協力して作成していく過程が、対象の汎用性を高め同時にその品質を高めています。閉じられたチームで開発するのではなく、多くの有能な開発者達と作業を通して知り合うことで、開発者自身の向上心を掻き立て、それによりソフトウェアの品質も高まるというものです。
これらを満たしている仕組みがHadoopであり、その可能性が期待されています。

講演は、 ″the future is data″ 将来への提示の話で締め括られました。

Web 2.0の教訓で「データが重要である」ことは言うまでもなく、加えて沢山のデータを収集することが重要であることを繰り返して強調しています。
収集した生の大量データをシンプルなアルゴリズムで解析すれば良い

という主旨です。複雑なアルゴリズムにおける改良を繰り返すのではなく、
データを収集するのに注力した方が得策だとのことです。つまり、
必要なデータを全部集めることで、一番効率的な解析が行えるのです。
ビジネスにおいて、より多くのデータを集めて解析することが更なる改善
に繋げることに有効である、という示唆でした。

この命題は、新しい分散型データOSのカーネルとして「Hadoop」を利用する
ことで実現可能であります、というDoug　Cutting氏の締めのお言葉でありました。

講演ではコアのHDFSとMapReduceやHive、Pigなど周辺コンポーネントの簡単な
紹介がありましたが、これはまた機会があればということにさせて頂きます。
因みに、彼は名前の由来であるHadoop（黄色い象のぬいぐるみ）同伴でした。
講演後に聴講者と一緒に ″Doug + Hadoop″ で記念写真を撮られていました。

超高速スーパーコンピューターの登場を待つこともなく、大量のデータを
集めて分散並列処理を行うことが可能となる時代が到来しつつあります。
コンシューマサービスを生業とする大企業ではHadoopを活用していますが、
エンタープライズ適用ではトレーサビリティー題と仮定しただけでも製造、
流通、食品、アパレル、あらゆる業界でビジネスを拡大させます。
ビッグデータ(Big Data)を扱う取り組みは既にトレンドになっているのです。

次回は、急速に浸透し普及が進む電子書籍の話題です。お楽しみに。

関連コースの詳細情報はこちら：

「クラウド・仮想化 基礎／入門」関連コース
http://www.school.ctc-g.co.jp/cldvir/

「ストレージ関連基礎」コース
http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/index.html#org

「Java」関連コース
http://www.school.ctc-g.co.jp/java/

■お問合せ・ご意見・ご感想は◆ＣＴＣ教育サービス◆窓口まで――――――――
シーティーシー・テクノロジー株式会社　エデュケーションサービス部
E-Mail： kyouiku@ctc-g.co.jp / TEL： 03-5712-8701

・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。大変お手数ではございますが、ＣＴＣ教育サービス以外からのメール配信についての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。
・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時ctc_edu_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。